

学習指導案

第1時 問題解決の手順（9月25日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 授業の目的や進め方について知る 2 本時の学習課題を確認する 問題解決の手順	・授業の目的や7時間全体の流れについて、テキストを用いながら説明する	サブテキスト
展開 40分	3 情報の意味を知る 4 問題解決における情報の重要性を知る 5 問題解決の手順を知る 6 修学旅行の班別自主研修の計画を、問題解決の手順にあてはめて記入する	・情報という言葉のもつ意味を理解させる ・問題解決の例を示す ・問題解決における情報の重要性に気付かせる ・問題解決の手順の重要性を理解させる ・各班で、計画作成上問題になったことを思い出させながら記入させる	サブテキスト ・情報の意味 ・問題解決の手順 ・修学旅行の班別自主研修計画
まとめ 5分	7 本時のまとめ 8 次時の予告 ・問題解決の手順 ・適切な手段の選択	・問題解決の手順にあてはめて記入できたか振り返らせる	

第2時 問題解決の手順、適切な手段の選択（9月26日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する 問題解決の手順 適切な手段の選択	・問題解決の手順を記入できるようにする ・問題解決におけるコンピュータの効果的な活用について理解させる	
展開 40分	2 問題解決の手順を確認する 3 文化祭における模擬店の販売計画について手順を考える 4 問題解決において、コンピュータの効果的な活用場面を考える	・前時に記入した班別自主研修計画を確認しながら進める ・予算額を条件として提示し、記入させる ・手作業とコンピュータ処理それぞれの長所・短所をあげさせ、目的に応じて使い分けることの大切さを理解させる	サブテキスト ・文化祭における模擬店の販売計画 ・手作業とコンピュータ処理それぞれの長所・短所
まとめ 5分	5 本時のまとめ 6 次時の予告 ・モデル化とシミュレーション	・問題解決の手順が理解できたか振り返らせる	

第3時 問題解決の方法（9月30日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する モデル化とシミュレーション	・モデル化とシミュレーションの考え方を理解させる	
展開 40分	2 モデル化の意味を知る 3 身近にあるモデルを考える 4 シミュレーションの考え方を 知る 5 シミュレーションによる問題 解決の手順を知る	・モデル化の例をあげながら、モデルを利用した問題解決の利点を理解させる ・シミュレーションが、社会のなかで多く利用されていることに気付かせる ・シミュレーションによる問題解決の手順を確認させ、例をあてはめて理解させる	サブテキスト ・モデル化の身近な例 ・身のまわりのシミュレーションの例
まとめ 5分	5 本時のまとめ 6 次時の予告 ・シミュレーション	・モデル化とシミュレーションの考え方が理解できたか振り返らせる	

第4時 問題解決の方法（10月2日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する シミュレーション	・表計算ソフトを利用したシミュレーションの方法を理解させる	
展開 40分	2 コンピュータによるシミュレーションの利点を知る 3 表計算ソフトを利用したシミュレーションの実習を行う	・社会のなかで利用されているコンピュータシミュレーションを例として、その役割について理解させる ・表計算ソフトを利用してシミュレーションができることに気付かせる	サブテキスト コンピュータ教材 ・模擬店の売上シミュレーション
まとめ 5分	5 本時のまとめ 6 次時の予告 ・シミュレーション	・表計算ソフトを利用したシミュレーションの考え方が理解できたか振り返らせる	

第5時 問題解決の方法（10月2日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する シミュレーション	・表計算ソフトを利用したシミュレーションの考え方や方法について理解させる	
展開 40分	2 表計算ソフトを利用したシミュレーションの実習を行う 3 コンピュータが問題解決に活用できることに気付く	・表計算ソフトを利用したシミュレーション実習をとおして、コンピュータ活用の利点を理解させる	コンピュータ教材 ・預金金額の変化 サブテキスト
まとめ 5分	4 本時のまとめ 5 次時の予告 ・データベースの概念 ・データベースの作成	・表計算ソフトを利用したシミュレーションの実習をとおして、コンピュータ活用の利点を理解できたか振り返らせる	

第6時 問題解決の方法（10月7日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する データベースの概念 データベースの作成	・データベースの概念を理解させる ・データベースの作成による問題解決の方法を理解させる	
展開 40分	2 データベースの概念について知る 3 友人の住所録を作成するために必要な項目を考える 4 図書館蔵書データベースを作成するため、データを入力する	・データベースが、情報の蓄積と管理を行うために有効であることを理解させる ・表計算ソフトを利用したデータベースの作成のしかたについて理解させる ・図書館蔵書データベースの作成をとおして、大量の情報を蓄積・管理する問題解決の方法を理解させる	サブテキスト ・友人の住所録 コンピュータ教材 ・図書館蔵書データベースの作成
まとめ 5分	5 本時のまとめ 6 次時の予告 ・データベースの作成 ・7時間のまとめ	・データベースの作成について理解できたか振り返らせる	

第7時 問題解決の方法、まとめ（10月9日）

段階	生徒の活動	指導上の留意点	教材の活用
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する データベースの作成 7時間のまとめ	・身のまわりの問題解決に、コンピュータを活用することの意義を実感させる	
展開 35分	2 データの検索、並べ替え等の実習を行う 3 図書館蔵書データベースの運用について考える	・前時に入力させたデータを統合したものをもとに、実習をとおしてデータベースの活用について理解させる ・図書館蔵書データベースをより使いやすいものとするため、運用する際に必要な項目、工夫について考えさせる	コンピュータ教材 サブテキスト
まとめ 10分	4 本時のまとめ 5 授業全体をとおして振り返る	・問題解決の手順、適切な手段の選択、問題解決の方法について理解できたか確認させる	